

ブロック別の動向

前月と比べたDI値の動き



→ ほぼ横ばい



中国

中国は、悪化。小売業では、物価高の影響で消費者の節約志向が高まり、百貨店や総合スーパーなどで売上・採算が悪化した。卸売業では、小売業からの引き合いが減少した飲食料品関係や、輸出が伸び悩む製造業からの需要が減少した機械器具関係などで売上・採算が悪化した。事業者からは、これ以上消費マインドが低下しないよう、燃料価格等の高騰に対する支援施策を早急に講じてほしい、という声も聞かれた。



四国

四国は、ほぼ横ばい。小売業では、歓送迎会需要の恩恵を受け、飲食料品関係の専門店などで売上・採算が改善した。一方、サービス業では、人手不足が深刻化する中、燃料価格の高騰がさらなる重荷となり、運送関係を中心に売上・採算が悪化した。路線バスの運営事業者からは、慢性的な運転手の人手不足により労務コストが重荷となっているため、外国人材や自動運転システムの導入を検討している、という声が聞かれた。



九州

九州は、悪化。製造業では、中東情勢の緊迫化による輸出減少や新築住宅の停滞の影響を受け、機械器具関係や木材製品関係などで売上・採算が悪化した。卸売業では、円安に伴い高騰した輸入品などの買い控えにより、飲食料品関係などで業況が悪化した。事業者からは、ガソリンの高騰により、配送料や資材関係が値上がりする予定であるが、すぐには価格転嫁ができず、収益が圧迫されてしまう、という声が聞かれた。

	2025年	2025年				2026年		先行き
	3月	10月				11月		12月
全国	▲ 19.2	▲ 18.9	▲ 17.9	▲ 18.0	▲ 17.9	▲ 16.8	▲ 20.0	▲ 21.5
北海道	▲ 13.5	▲ 11.0	▲ 12.0	▲ 10.7	▲ 7.7	▲ 14.2	▲ 11.4	▲ 14.7
東北	▲ 29.1	▲ 34.9	▲ 27.8	▲ 35.7	▲ 30.9	▲ 30.0	▲ 41.4	▲ 29.8
北陸信越	▲ 30.9	▲ 28.0	▲ 22.9	▲ 21.5	▲ 27.9	▲ 23.5	▲ 27.3	▲ 26.1
関東	▲ 13.4	▲ 13.5	▲ 15.5	▲ 16.2	▲ 14.4	▲ 12.4	▲ 13.4	▲ 19.6
東海	▲ 13.5	▲ 16.9	▲ 18.4	▲ 19.6	▲ 17.6	▲ 16.0	▲ 20.6	▲ 26.1
関西	▲ 21.5	▲ 13.8	▲ 17.8	▲ 15.8	▲ 13.7	▲ 11.8	▲ 15.6	▲ 16.1
中国	▲ 19.0	▲ 20.6	▲ 16.8	▲ 13.4	▲ 13.3	▲ 10.9	▲ 15.6	▲ 21.1
四国	▲ 20.7	▲ 24.2	▲ 21.0	▲ 17.5	▲ 25.0	▲ 25.2	▲ 25.4	▲ 23.0
九州	▲ 23.2	▲ 20.1	▲ 14.0	▲ 13.4	▲ 18.9	▲ 15.9	▲ 21.2	▲ 21.2

